



# 2024年 第3回 隣県トレセン交流大会U-12

～テクニカルレポート～

大分県トレセンU-12 チーフ

《報告者》 山田 将来

## 1. 日程・結果

6月29日 (土)

6月30日 (日)

No.	チーム名	vs	チーム名	結果
1 日目	大分A	-	鹿児島B	○
	① 3	-	1	
	大分B	-	宮崎A	△
	② 1	-	1	
③ 大分B	-	鹿児島B	○	
④ 大分A	-	宮崎B	○	
④ 2	-	0		

No.	チーム名	vs	チーム名	結果
2 日目	大分A	-	鹿児島A	△
	① 2	-	2	
	大分B	-	宮崎B	○
	② 2	-	1	
③ 大分A	-	宮崎A	●	
④ 大分B	-	鹿児島A	△	
④ 0	-	0		

3月 東九州トレセン大会

勝	分け	負
1	0	5



隣県トレセン交流大会

勝	分け	負
4	3	1

## 2. 選手たちに求めたもの

【原理原則】

【レーン・ゾーン】

【守備 コンセプト】



【育てたい選手】

【観 オフザピッチ】

【選手たちの主体性】



## 3. 課題と成果

〔攻撃〕

〔守備〕

- ・ 守備から攻撃の切り替わりでボールを失ってしまう。
- ・ 次のプレーを意識した個の技術 (ボールの置き所、体の向き、マークを外すタイミング)
- ・ ゴールを奪う決定力 (ストライカーの育成)
- ・ 得点力が向上。 計13得点
- ・ 中盤でのコンビネーションで相手を剥がす技術。
- ・ 即興性→選手たちのアイデアでゴール前まで侵入。
- ・ ヒルトアップを最短に！相手陣地でプレーできた

- ・ チャレンジ & カバーを意識した関係性の守備
- ・ ボールを奪える選手のバラツキ (ボールを奪う技術は個人差が大きい→奪える選手が少数)
- ・ グループで奪う守備→第3エリアの選手の関わり
- ・ 対人のボールを奪う技術が向上していた。
- ・ マッチアップの選手に対して簡単に越えさせない対応。
- ・ 組織で奪える/奪えないの判断の中でプレーできた。
- ・ 少数グループでの連続した守備。

## 4. 事前活動

### 【TR前 zoomミーティング】



- ・毎月、県トレセン活動前にスタッフ間で事前にzoomを実施
  - ・年間のTRテーマや活動内容を共有
  - ・当日の流れや注意点、TRのポイントを打ち合わせ
- +安全面の対策・確認+

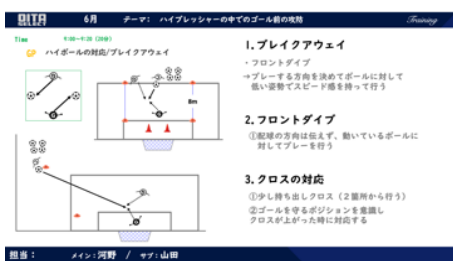
- ゴール運搬→必ずスタッフ管理（選手だけに運ばせない）
- 天候の考慮→WBGT設置、天気（雨、風）、雷時の対応

### 【選手強化TR】



- ・遠征前の県トレセン活動を活用
- ・東九州トレセン大会（3月）の課題からテーマを選定し指導案を作成
- ・スタッフでグルーピングを行い「テーマ」からTRを発案
- ・隣県トレセン交流大会（6月末）に向けて強化TRを実施
- ・個の課題からグループの課題をスタッフ全員で積み上げ、改善

### 【GP強化TR】



- ・昨年の課題であったGP（ゴールプレイヤー）のTRを実施
- ・基本的な技術から専門的な知識まで選手に共有
- ・TRテーマに応じたGPのテクニックをトレーニングしチームに合流
- ・GPコーチとコミュニケーションをとることで課題を抽出し改善を実施

- ◆事前に行ったトレーニングからテクニックの課題を共有
- ◆選抜大会の失点シーンをGPコーチと一緒に改善
- ◆当日撮影した映像を使って改善ポイントを吸い出し

## 5. 遠征活動



役割を分担し充実した環境を！



GPコーチと試合の映像を振り返り



選手の《思い・決意》

## 6. まとめ

### Good

- ・東九州トレセン大会では一勝しか出来なかったが今回は4勝、1敗と好成績を残せた。→県トレセン活動の積み上げ
- ・スタッフ間で事前に打ち合わせ、zoomを毎月行った。選手/スタッフでイメージの共有が充実できた。
- ・国スポ 大分U-16の課題/成果を選手へ共有。トレセンの集大成や将来像を共有することで選手たちに自覚が芽生えた。

### Bad

- ・選手の中でオフザピッチの取り組みに課題のある選手が数名。→県トレセンの活動を通して躰けることが必要
- ・全体を通して個の技術に課題が残る→テクニックの習得/トレーニングが必要 ▷県トレセンの活動日に発揮できるように
- ・守備：ボールから遠い選手はゴール/相手/スペースを守ることが必要だが自覚がない。第3エリアの重要性

### Next

- ・テクニックの習得に課題があり→宿題を与えて次回の活動に発揮できるように促す。
- ・ピッチの選手全員が役割を理解できるようにTR前に共有することも取り入れる。
- ・U-12九州トレセンマッチに向けて強度を上げる。質の高いトレーニングを行い九州No1を目指す!!